

## 1 中学校社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

## 2 評価と評価方法

観点	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2年 内容	定期テストや小テストで、用語や場所を正しく理解しているか。	レポートやワークシートで、資料から読み取ったことを自分の言葉で説明できているか。	授業中の発言、ノートの整理、期限内の課題提出。

## 3 授業計画（2年）

4月	日本の地域構成	11月	産業の発達と元禄文化
5月	九州・中国・四国地方	12月	幕政の改革と幕末
6月	近畿・中部地方	1月	明治維新
7月	関東地方	2月	自由民権運動と憲法
9月	安土桃山時代	3月	日清・日露戦争
10月	江戸幕府の成立		

## 4 授業の進め方

	活動内容	ポイント
導入・復習	前回の振り返りクイズや、本日のテーマに関連する写真の提示。	視覚的なインパクトで興味を引く。
課題の提示（問い）	「この地方の特徴は？」「なぜ戦争がおきたのか？」といった学習課題（めあて）の設定。	「知りたい」という動機付け。
展開（自力解決・共有）	教科書や資料集、統計データを読み取り、個人またはグループで課題の答えを探す。	資料活用能力を養う時間。
まとめ・解説	学習した内容を構造化して板書し、教員が補足説明を行う。	知識の定着と整理。
振り返り	本日の学びを自分の言葉で1-2行書く。	思考の言語化。

## 5 授業で使うもの

- ① 教科書
- ② 沖縄県の中学生のための社会科ノート（地理・歴史）
- ③ 筆記用具（シャーペン、消しゴム、定規、蛍光ペン2色 赤ペン）
- ④ 社会ファイル
- ⑤ よくわかる社会の学習（地理・歴史）